



編集発行 五木中学校
PTA 文化広報委員会

令和五年度 PTA活動について

PTA会長
永井 雅裕



令和五年度が始まり、早いもので半年が過ぎようとしています。今年の五月から新型コロナウイルス感染症が五類に引き下げられ、これまでの制限が緩和されました。少しずつコロナ禍前に戻りつつある中で子どもたちの夏休みはいかがだったでしょうか。昨年までとは違って、楽しい思い出がたくさん作れたのではないかと思います。

一学期は保小中高合同運動会の準備、後片付けと保護者の皆様にはたいへんお世話になりました。順延とはなりませんが、皆さんの協力により、晴天のもと運動会が開催できたことに、とてもホッといたしました。また、子どもたちの一生懸命に取り組む姿勢にとても感動しました。コロナ禍の間は、学校行事など子どもたちにとつて我慢の多い日々を過ごしてきたと思います。しかし、先生方のご尽力により、制限のある中でも子どもたちの発表の場など学校行事を実施していただきましたことに心から感謝申し上げます。

これからは、少しずつコロナ禍前に戻っていくと思われれます。これまで子どもたちが我慢してきた分、私たち保護者が子どもたちのために何ができるかというのを考え、一つでも多く学校生活の楽しい思い出を作ることができるよう、先生方と協力し学校行事やPTA活動に取り組んでいけたらと思います。保護者の皆さんには今後とも、学校行事・PTA活動にご理解とご協力をいただきますよう、よろしく申し上げます。

これからの時代を 生きたる子どもたち

校長
志牟田 靖



保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

本校は、「責任・努力・自主」の校訓のもと、「故郷を愛し、豊かな心と確かな学力を持った、たくましい五木つ子の育成」を主体的に学び、考動し、よりよいコミュニケーションを図る「五中生」を教育目標に、日々努めているところです。

一学期は、十五名の生徒と十三名の職員と一緒に日々学習と様々な行事に取り組まれました。中でも「保小中高合同大運動会」での子どもたちの活躍はすばらしく、一人一人の無限の可能性と、ふるさと五木に対する愛情を感じました。

これからは予測不可能な時代と言われる一方、誰もが豊かに暮らすことができる持続可能な時代を創造する必要があります。このような時代をたくましく生きるために、積極性や粘り強さ、思いやりや自信、協調性など数値化できない、いわゆる「非認知能力」の育成が叫ばれています。そのような中から本校では特に「主体性」を目標として積極的に努力する力、「多様性」を多様な価値観を受け入れ理解する力、「表現力」を自信を持って考えを伝える「コミュニケーション力」の三つの力をブランドデザインに設定し、教育活動を通して育成しています。

これからの予測不可能な時代を一人一人が志を立て、ふるさとを愛し、誇りを持つてたくましく生き抜くことができる五木中生を育むために、保護者の皆様や地域の皆様と共に教育活動に邁進したいと思っております。今後とも、なお一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和五年度 PTA役員紹介

今年度の本校PTA役員をご紹介します。今年度もPTA活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

- | | |
|---------|-------|
| 会長 | 永井 雅裕 |
| 副会長 | 蓑田 和紀 |
| 監査委員 | 中村 弘信 |
| 一学年委員長 | 豊永 正美 |
| 二学年委員長 | 淀川 恵子 |
| 三学年委員長 | 黒木 幸代 |
| 文化広報委員長 | 早田 吉臣 |
| 新坂 晴菜 | |
| 家庭教育委員長 | 杉本 里美 |



今年度 五木中学校の先生方

生徒会テーマ 「百花斉放」

五木中学校生徒会執行部
一人一人が輝き、活気あふれる五木中学校にしたいという意味が込められています。生徒数は減りましたが、見方を変えれば、一人一人がより輝ける一年になると思えます。素敵な五木中学校を目指して学校生活を歩んでいきま

中学校に入学して 一年 淀川 幸愛

入学して四か月が経ちました。不安が大きかったですが、先輩方が優しくしてくださったのですぐに学校に慣れることができました。

一学期には心に残った思い出が二つあります。一つ目は合同大運動会です。最後までみんなと協力して競技に取り組むことができました。特に、手話演舞では、初めてで緊張しましたが、最後まで間違えずに披露することができ、とても嬉しかったです。二つ目は、修学旅行です。みんなと協力の大切さを改めて知ることができました。渡嘉敷島に行ったときに、本物のアダン(熱帯の植物)を見ることができてよかったです。海もとてもきれいで泳ぐのが楽しかったです。

夏休みは、各教科の復習を目標にしてみました。なかなかできませんでしたが、二学期は家庭学習を頑張りたいです。いろいろな行事がある二学期を楽しく過ごしたいと思います。



保小中高合同大運動会 五月十四日(日)

雨天順延となった今年度の大運動会ですが、今年度も生徒のがんばりに感動する日となりました。保護者の皆様、子どもへの声援ありがとうございました。

会場全体へのエールを
赤団団長 嶽本 愛奈

みんなで作り上げた
手話演舞
健康推進委員長 山内 悠雅

「できっこないをやらなくちゃ」「ヒカレ」の二曲は、二年生の冬休み前に、クラスのみんなでやりた曲をそれぞれ持ち寄り、話し合っ選んだものです。この曲の手話は、歌詞の意味に合わせ、パートごとにそれぞれインターネットで調べて、振付けは犬童先生に提示してもらったもので決めました。振付けについては、それぞれの自宅からオンライン会議で話し合いました。一・二年生に教えるのは難しかったです。しかし、予想していたよりもずつとすばらしい演舞になったと思います。



中学校の赤団団長として、中学校最後の運動会で優勝することができて本当に良かったです。

運動会は一日延期の開催となりましたが、無事に晴れて終わることができました。団長として上手にまとめることはできませんでしたが、みんなが先に動いてくれたおかげで困ることもありませんでした。手話演舞では、三年生みんなで一から作り上げました。今年は応援団という今までにないものをとり入れ、会場全体にエールを送ることができたと思います。そして、保小中高の赤団みんな協力して笑顔で楽しくでき、大成功だったと思います。思い出多い運動会になりました。

白団としての団結 白団団長 中村嵩之進

私は、今年の運動会で白団の団長をしました。開会式で選手宣誓をするのは、私にとつても大きな役割でした。

「自分にみんなをまとめることができるのか」ととても不安でしたが、よい経験になりました。

小学生や保育園児のみんなにとつて少しでも手本になれば幸いです。



中体連大会を終えて



笑顔で終えた中体連
陸上競技部
三年 土屋 漣

六月十七日、私にとって最後の
中体連陸上競技大会が終わりま
した。競技やその他の面でもたく
さんの実りがありました。今大会は
百メートルと四×百メートルリ
レーに出場しました。百メートルは自
己ベストのタイムで走ることができ
ました。しかし、前傾姿勢が長く続
きませんでした。今回は自己ベスト
で走ること課題の再確認ができ
ました。その後の大会につなげることができ
ました。リレーは、前の大会での失
敗をなくし、ゴールまでバトンをつ
なげて記録を残すことができました
。五木中のチームワークのすばら
しさを感じました。

諦めないことの大切さ バドミントン部

三年 森下 彩香

私は中学校最後の中体連を終え
て、諦めないことの大切さを学ぶこ
とができました。一回戦目から去年負
けた相手との試合でした。ものすべ
く緊張をしましたが、リベンジだと思
い、気合いを入れて挑みました。やは
り相手は私よりも技術力が高く、点

差が開いてしまいました。それでも
諦めず最後までシャトルを追いま
した。後輩や先生、保護者さんの応
援もあり、心が折れそうになっても
頑張ることができました。試合は負
けてしまいましたが、今までで一番
バドミントンを楽しめて、心に残った
大会になりました。今は、部活動を
引退して勉強に取り組んでいます。
今回の試合のように、これからも何
事にも最後まで諦めず全力で取り
組もうと思います。



四年ぶりの来村 熊本聾学校との交流会

三年 早田 侑里



対面するのは四年ぶりとなった
五木中学校と熊本聾学校の交流
会。五木村での川遊びを計画しま
したが、楽しみという思いより、難聴
の方に対してコミュニケーションをと
れるのかという不安が大きかった。
しかし、そんな不安はなかつたよ
うに、私たちはすぐに打ち解けま
した。ジェスチャーや手話を用いて話
したり、手話を教えてもらったり、ど
ても楽しい時間でした。言葉を交わさ
ずとも、手をつなげば、自然に笑顔
が生まれました。難聴の方だから
と、特別扱いをしなくても良いのだ
、コミュニケーションとはこんなにも簡

単なのだと感じました。短い時間
でしたが、この交流会で、これからの生
活・人生において、コミュニケーション
や多様性などたくさん学ぶことを学
びました。この思いを忘れずに、今そ
して未来に生かしていきたいです。



二年 杉本 麻美

交流会で、手話で自己紹介や
会話をし、聾学校の人に手話も教
えてもらいました。聾学校の人が
考えたクイズなども楽しみました
。午後からは川遊びでした。一
列になって前の人の肩につかまっ
たり足で挟んだりして一緒に流れ
ました。輪になって手をつないで流
れたりもしました。みんな楽しく
遊べました。
障がいのある方との接し方を考
えながら生活していきたいと思
いました。手話ももっと覚えたいで
す。

二年 永井 愛結

交流会では、最初は手話での自
己紹介をしました。手話演舞を
披露し、弁当と一緒に食べまし
た。弁当のときに、聾学校の先生に
手話で通訳してもらいながらた
くさん話し、楽しく食事をしまし
た。聾学校の皆さんに手話も教
えてもらいました。聾学校の人は表
現力があって、「三匹の子ぶた」の
手話での発表もとてもおもしろか
つたです。
川遊びでは、みんな輪を作っ
て流れたり水を掛け合ったりしま
した。三十分くらいで終わったの
でもっと遊びたかったです。手話
をする機会が少ないので会話をす
るときは、こずたけれど、みんな
楽しく一日を過ごせました。

修学旅行の思い出

七月五日(水)～八日(土)

今年度は一・二年生での沖
縄への修学旅行となりました。
一日目は、平和学習で沖縄戦
の悲惨さ・平和の尊さを学び
ました。二日目は、風光明媚
な首里城見学と、海洋研究博
物館の語り部さんによる平和
学習の体験をしました。四日
市は、国際通りでの水族館見
学、美ら海水族館見学・那覇
と、盛りだくさんの旅行でし
ました。

わくわくが止まらない
二年 中村 雄人

初めての空港はとても広かった
です。飛行機の座席のくじをひいた
と、キャリールバックスを預け、二階に行
きました。二階ではセキュリティゲ
ートを通るために、金属のものや飲
み物、リュックサックをかごに出しま
した。
飛行機に乗るまで、外を眺めてわ
くわくが止まりませんでした。飛行
機が飛び立つてからは空から周囲
を見ました。いつも見られないところ
のすばらしさがわかりました。

渡嘉敷の海
二年 黒木 瞳子

渡嘉敷の海で泳ぎました。私が
今まで入った海の中でいちばん水が
澄んでいました。想像以上に水がし
よばくて驚きました。砂浜もきれい
でとても白く、海の色が映えていま
した。

渡嘉敷での一日目は大型カヌー
とカヤックに乗りました。みんな息
を合わせてのんびり楽しめました。
カヌーから沖繩の魚が見えました。
カヌーとカヤックに乗ったあともサ
ングを集めたりして楽しかったです。
二日目は、シュノーケリングでた
くさん魚を見ることができました。
ウミガメを見ることは残念ながらで
きませんでした。
渡嘉敷の海でいろいろな体験が
できました。沖繩の修学旅行でよい思
い出ができました。

国際通りで
二年 新坂 祐斗

「その学生さん、おなからすいてな
い？」
国際通りに着いてすぐにお店の
人から言われ、僕たちはとまどつて
しまいました。一緒にいたカメラマン
さんが、
「あ、あとから来ます！」
ときつぱり断つてくれました。あ

んなにぐいぐい来られるとついつられ
てしまうなと思いました。
僕たちが行きたい店に着いたら、い
ろいろな味のちんすこうがあり、店員
さんのおすすみを買いました。とても
おいしかったです。
国際通りで買い物をしてみて、沖
縄の人たちの明るさや優しさをとて
も感じる事ができました。

楽しかった美ら水族館
二年 豊永 愛理

美ら水族館でたくさん見学を
しました。生き物がとても大きくて
びっくりしました。一番迫力があつた
のはジンベイザメとマンタです。こん
なに大きなサイズの生き物がいると
思いませんでした。とても興奮しまし
た。水族館の見学が終わると外に出
て、マナーティーとウミガメのところ
に行きました。マナーティーはエサを食
べていてとてもかわいかったです。ウミガ
メはとても近くにきていて良い写真
が取れました。
とても迫力があつて楽しかったの
でまた行きたいなと思いました。

焼畑体験学習

八月二十一日に、焼畑の火入
れを体験しました。
二年 蓑田 悠太

「パチパチパチパチ」
木が音を立てて燃えました。焼
畑体験学習をしました。
七日間くらい晴れた日が続いた
時に焼畑を行うとよく燃えるそう
です。しかし、今回は前日に雨が降っ
てうまく燃えませんでした。現在機
械化が進んでいますが、焼畑は全
て人の手でやるという時代はとて
も大変でした。また、今回は斜面が
緩やかで火が燃え上がりませんでした。

五木村は山がたくさんあるので、
これからもっと焼畑が広がっていく
いなと思えました。この焼畑体験は
これからの五木村に大きな影響を
与えたと思います。そして、世界に
もこの焼畑が知れ渡るようにこうい
った活動が増えていくといいなと思
いました。
二年 柳川 範斗

焼畑体験学習で、焼畑の大変さ
を実感しました。
まず、前日の雨で土が湿っており
火がなかなか広がらなかった。
だから、乾燥した木の枝で火の勢
いを強めました。煙が目が痛くしつ
かりと目を開けて作業することがで
きませんでした。そのうえ、強い日差
しの下だったのでかなり暑く大変な
作業でした。
今回の焼畑体験学習で、先人の
力強さや焼畑の大変さに改めて気
づくことができました。また、環境に
もやさしく、地球温暖化が課題で
ある現代社会に合った農法だとわ
かりました。学んだことを忘れず、継
承していきたいです。

編集後記

今年の夏は本当に暑かったです
ね。そんな中でも、子どもたちがさま
ざまな行事に全力で取り組む姿に、
とても元気をもらいました。
PTA新聞の発行にあたり、ご協
力いただいた皆様、ありがとうございました。
五木中PTA文化広報委員会

- 新坂 晴菜 土屋 千雅
- 黒木 紀久子 荒木 淳翔
- 石原 聡子